

ライトアップされた“世界で最も美しい広場”とたたえられたブリュッセルの「Grand-Place」



ゲストは正面エントランス車寄せでシルクハットとロングコートの正装したドアマンに迎えられる



ダイニングの「Ristorante Bocconi」はシェフの Marco Visinoni が腕を振るイタリアンでブリュッセル最高の評価だ



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト  
慶応義塾大学法学部法律学科卒。  
74年 Munich Re 入社。85年築地  
原健代表取締役。2001年投資顧  
問会社原健設立、代表取締役 CEO。  
JHRCA、日本ホテルレストランコン  
サルタント協会理事。  
[www.jhrca.com/worldhotel](http://www.jhrca.com/worldhotel)  
現在、筆者のホームページで「世界  
のリーディングホテル」を連載中。  
多くの美しい写真と興味深いコメン  
トで、世界中のホテルとそれら関連  
都市を紹介。

## ロコ フォルテ ホテル アミーゴ Rocco Forte Hotel Amigo

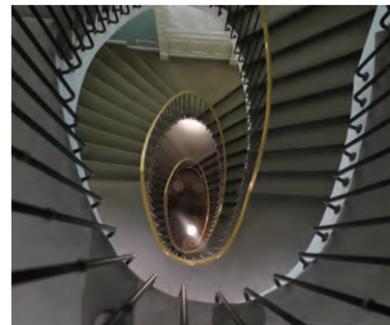
[www.jhrca.com/worldhotel?cat42](http://www.jhrca.com/worldhotel?cat42)

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



ロコフォルテ・コレクションの「Rocco Forte Hotel Amigo」の正面ファサード。ロコフォルテ卿がほれ込んだ LHW 加盟の重厚なホテルで、立地、伝統、歴史性からも申し分ないベルギー屈指の名門ホテルだ



館内は華麗なステアケースをはじめ、上品な美術館の雰囲気か漂う



何処となく気品が感じられるエレベーターホール



コンシェルジュデスクに詰めるスタッフのスマートな対応が自慢だ



笑顔でフレンドリーなレセプションデスクの女性スタッフ



メインバー「Bar Amigo」はホテルを訪問した著名人の写真を飾ったエキサイティングなバーだ



「Bar Amigo」に隣接したラウンジはスタイリッシュな雰囲気か落ち着いた



約110㎡の広さを持つ「Presidential Suite René Magritte」のベッドルーム。名前を冠したルネ・マグリットはベルギーの誇るシュールレアリスムの巨匠で、客室には彼の代表作の絵画が飾られている



“タンタン”「Tin Tin」は、ベルギーで最も有名な漫画の主人公の名前で、各部屋にはタンタンの絵や人形が置かれている



「Presidential Suite René Magritte」の色彩豊かな印象のリビングルーム

かつてヴィクトル・ユーゴーをして“世界で最も美しい広場”とたたえられたブリュッセルの「Grand-Place」。歴史的な建造物に囲まれた広場は、まさに中世の世界そのものと言える。そのグランプラスのすぐ裏手に建つ名門ホテルがロコフォルテ・コレクションの「Rocco Forte Hotel Amigo」である。“アミーゴ”という語感から受ける気安さとは違い、ロコフォルテ卿がほれ込んだ LHW 加盟の重厚なホテルで、立地、伝統、歴史性からも申し分ないベルギー屈指の名門ホテルである。16世紀に建てられたこの建物は、かつて監獄として使われていた歴史的建造物でもある。

珍しい名前の由来は16世紀初頭にさかのぼり、当時の支配者スペイン人がベルギーのフラマン語系の「牢獄」と「友人」を意味する単語の発音がソックリで勘違いしたこと始まる。以来何世紀にもわたって建物は、スペイン語の“友達”「Amigo」の意味で使われてきた。16世紀当時、無敵艦隊のスペインはベルギーまで勢力が及んでいた訳だ。ユニークなのは“タンタン”「Tin Tin」キャラクターを前面に出している事である。ベルギーで最も有名な漫画の主人公の名前で、各部屋にはタンタンの絵や人形があちこちに飾られており、思わず癒やされた気分になる。もちろん、部屋全体にタンタンをテーマにした「Tin Tin Suite」も人気だ。

ホテルアミーゴはスイートを含め全174室を擁し、その歴史あるレンガ造りの外観とは異なり、館内は華麗なステアケースをはじめ、上品な美術館の雰囲気である。筆者がアサインされた部屋は「Presidential Suite René Magritte」で、約110㎡の広さを持つ色彩豊かな印象のスイートだ。スイートに名前を冠したルネ・マグリットはベルギーの誇るシュールレアリスムの巨匠で、客室には彼の代表作の絵画が飾られている。メインダイニングの「Ristorante Bocconi」はシェフの Marco Visinoni が腕を振るイタリアンで、ブリュッセルで最高の評価を得ている。メインバー「Bar Amigo」はホテルを訪問した著名人の写真を飾ったエキサイティングなバーで、隣接したラウンジはスタイリッシュな雰囲気か落ち着いた。

ホテルアミーゴというユニークな名称を持つホテルだが、ゲストは正面エントランス車寄せでシルクハットとロングコートの正装したドアマンに驚かされる。続いて館内に案内されると、コンシェルジュデスクに詰めるスタッフのスマートな対応に。そして、レセプションデスクの笑顔でフレンドリーな事務処理など、ホスピタリティーの部分も完璧と言えるロコフォルテ自慢のホテルである。

WORLD'S PRESTIGE HOTELS  
世界の名門ホテル

小原 康裕 渾身の写真集第二弾  
**WORLD'S PRESTIGE HOTELS**  
「世界の名門ホテル」  
絶賛発売中

世界最高ランクのホテルの  
美しい写真と解説にご期待ください。